

令和5年1月10日

学生の皆さんへ

日本医療科学大学

学長 新藤博明

新年を迎え後期も後半戦、私から学生の皆さんにメッセージを送りたいと思います。本学は、昨年度来、一部オンデマンドによる授業を併用し、感染予防をしっかりと行いながら対面形式を中心に授業を行ってきました。

新型コロナウイルスはその形態を少しずつ変え、依然として世界中に悪影響を及ぼしています。昨年9月末頃には、第7波が収束傾向にあり、日本政府も経済を優先する中で、日本国民全体が感染リスクへの警戒心が少々希薄になっていたのかもしれませんが。

加えて年末年始の飲食再開や帰省の増加などが感染を拡大させる要因のひとつとなったのではないのでしょうか。その結果、昨年末から再び感染が拡大傾向に転じ第8波の到来となりました。**BQ1**系統と言う新しい変異株の発生と、この冬はインフルエンザとのダブル流行も懸念されています。

本学の感染状況については、重症化やクラスターの発生には至っておりませんが、軽症の感染者や濃厚接触者が漸増しており、楽観視できない状況にあります。本学の学生の皆さんは、国家試験を間近かに控える4年生は言うまでもなく、1～3年生の皆さんもこれから定期試験に臨むこととなります。ここでもう一度新型コロナウイルス感染への警戒感を持っていただきたいと思います。

本学と致しましても、昨年11月に**NIMS**アラートレベルを「厳重注意」へ引き上げました。内容は既にポータルで公開していますので必ず確認してください。今後も、学生の皆さん一人ひとりが感染予防の意識を高く持ち、予防のための行動を続けてください。ワクチンや飲み薬の市場投入など医療体制は少しずつ好転しつつありますが、特効薬はないものと考えていただき、これまでお願いしてきた基本動作を徹底してください。手洗い・マスク・三密回避とこまめな換気です。加えてワクチンを未接種の学生さんは是非とも接種を前向きに検討してください。

新年を迎え、皆さんが元気に学修を始め、4年生は無事に卒業ならびに国家試験に合格し社会に羽ばたいていくことと、1～3年生については無事に今年度の学習を修了してくれることを心から願っています。

以上